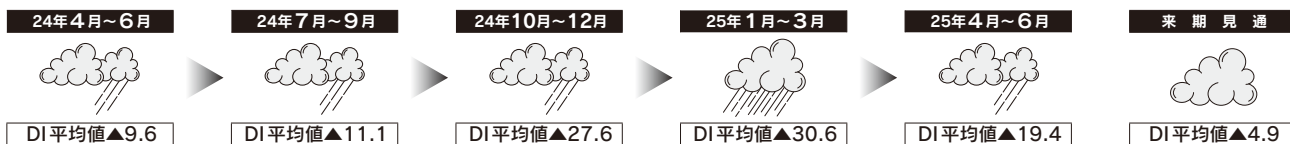


# 県内中小企業(製造業)景況動向

平成25年4月～6月期

本会調査結果概要



## 業種別景況動向

### 食料品

10-12	1-3	4-6	来期見通
▲28.6	▲46.8	▲36.7	▲15.6
<p>前年同期比の売上高DIは▲18.8、収益性DIは▲54.5で、両方を合わせたDI平均値は▲36.7となり、「雨」模様が続けている。来期見通しは、21.1ポイント上昇して▲15.6となり、「小雨」模様へ転じる見通しになっている。</p> <p>なお、前期比の売上高DIは3.1、収益性DIは▲40.0となった。</p> <p>また、雇用人員判断DIは▲6.7、設備操業率DIは▲6.9、設備投資実施率は33.3%となった。</p>			

### 繊維・同製品

10-12	1-3	4-6	来期見通
▲30.0	▲32.8	▲24.2	0.0
<p>前年同期比の売上高DIは▲12.9、収益性DIは▲35.5で、両方を合わせたDI平均値は▲24.2となり、「小雨」模様へ転じている。来期見通しは、24.2ポイント上昇して0.0となり、「曇」模様へ転じる見通しになっている。</p> <p>なお、前期比の売上高DIは▲12.9、収益性DIは▲43.5となった。</p> <p>また、雇用人員判断DIは▲4.4、設備操業率DIは▲26.1、設備投資実施率は6.9%となった。</p>			



## 概況

売上高と収益性を合わせたDI平均値(前年同期比)については▲19.4となり、前回調査(25年1～3月期)から11.2ポイント上昇している。来期見通しにおいては、▲4.9となっている。

売上高DI(前年同期比)については▲11.8となり、前回調査から17.3ポイント上昇している。来期見通しにおいては、▲0.9となっている。

収益性DI(前年同期比)については▲27.0となり、前回調査

から5.1ポイント上昇している。来期見通しにおいては、▲8.8となっている。

業況(前年同期比)については、「好転」したとする企業は9.6%、「悪化」したとする企業は28.8%で、DIは▲19.2となり、前回調査から10.2ポイント上昇している。来期見通しにおいては▲5.7となっている。





原材料価格DI(前期比)については27.9となり、前回調査から7.9ポイント上昇している。販売価格DI(前期比)については▲7.9となり、前回調査から1.8ポイント下降している。資

金繰りDI(前期比)については▲10.2となり、前回調査から9.9ポイント上昇している。金融機関の態度DI(前期比)については▲0.5となり、前回調査と同様となっている。





設備投資実施率については25.8%となり、前回調査より0.8ポイント上昇している。業種別で最も高い実施率となったのは、「プラスチック製品」の60.0%で、目的別では、「コスト低減」が31.8%でトップであった。

設備操業率DI(前期比)については▲5.6となり、前回調査から14.5ポイント上昇している。





### 紙・加工品

10-12	1-3	4-6	来期見通
			
▲38.3	▲18.8	▲2.8	▲5.6
<p>前年同期比の売上高D Iは▲5.6、収益性D Iは0.0で、両方を合せたD I平均値は▲2.8となり、「曇」模様になっている。来期見通しは、2.8ポイント下降して▲5.6となり、「小雨」模様になる見通しになっている。</p> <p>なお、前期比の売上高D Iは16.6、収益性D Iは0.0となった。</p> <p>また、雇用人員判断D Iは▲22.2、設備操業率D Iは上昇、下降とも18.8%で0.0、設備投資実施率は23.5%となった。</p>			





### 木材・木製品

10-12	1-3	4-6	来期見通
			
▲16.7	▲5.6	▲11.1	▲11.1
<p>前年同期比の売上高D Iは11.1、収益性D Iは▲33.3で、両方を合せたD I平均値は▲11.1となり、「小雨」模様が続いている。来期見通しも▲11.1となり、「小雨」模様が続く見通しになっている。</p> <p>なお、前期比の売上高D Iは33.3、収益性D Iは▲22.2となった。</p> <p>また、雇用人員判断D Iは▲22.2、設備操業率D Iは0.0、設備投資実施率は0.0%となった。</p>			





### 金属・同製品

10-12	1-3	4-6	来期見通
			
▲26.3	▲51.4	▲22.7	▲9.4
<p>前年同期比の売上高D Iは▲23.7、収益性D Iは▲21.6で、両方を合せたD I平均値は▲22.7となり「小雨」模様になっている。来期見通しは、13.3ポイント上昇して▲9.4となり、「小雨」模様が続く見通しになっている。</p> <p>なお、前期比の売上高D Iは10.8、収益性D Iは▲4.0となった。</p> <p>また、雇用人員判断D Iは▲20.0、設備操業率D Iは4.3、設備投資実施率は26.3%となった。</p>			





### 窯業・土石製品

10-12	1-3	4-6	来期見通
			
▲12.5	22.5	7.4	10.3
<p>前年同期比の売上高D Iは14.7、収益性D Iは0.0で、両方を合せたD I平均値は7.4となり「曇」模様になっている。来期見通しは、2.9ポイント上昇して10.3となり、「薄日」模様になる見通しになっている。</p> <p>なお、前期比の売上高D Iは▲17.7、収益性D Iは▲13.3となった。</p> <p>また、雇用人員判断D Iは10.0と唯一不足に、設備操業率D Iは10.4、設備投資実施率は29.4%となった。</p>			

### プラスチック製品

10-12	1-3	4-6	来期見通
			
12.5	▲36.7	▲10.0	10.0
<p>前年同期比の売上高D Iは0.0、収益性D Iは▲20.0で、両方を合せたD I平均値は▲10.0となり、「小雨」模様になっている。来期見通しは、20.0ポイント上昇して10.0となり、「曇」模様になる見通しになっている。</p> <p>なお、前期比の売上高D Iは0.0、収益性D Iは20.0となった。</p> <p>また、雇用人員判断D Iは0.0、設備操業率D Iは上昇、下降とも20.0%で0.0、設備投資実施率は60.0%となった。</p>			

### 機械・機器

10-12	1-3	4-6	来期見通
			
▲35.2	▲33.7	▲28.5	▲7.7
<p>前年同期比の売上高D Iは▲23.0、収益性D Iは▲33.9で、両方を合せたD I平均値は▲28.5となり「小雨」模様になっている。来期見通しは、20.8ポイント上昇して▲7.7となり、「小雨」模様が続く見通しになっている。</p> <p>なお、前期比の売上高D Iは▲20.0、収益性D Iは▲34.1となった。</p> <p>また、雇用人員判断D Iは▲17.4、設備操業率D Iは▲13.7、設備投資実施率は30.8%となった。</p>			